

新型コロナウイルス感染症による

スマイルジュニアゴルフ選手権実施ガイドライン【運営サイド】

・・・全般的な事項・・・

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会受付場所等）に提示する。
- 各事項がきちんと遵守されているかコース内を定期的に巡回・確認する。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた情報について、保存期間（少なくとも1ヵ月以上）を定めて保存しておく。
- 大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、当練習場の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておく。

・・・参加者募集時（エントリーの対応）・・・

主催者が参加者に求める感染拡大防止の措置としては、以下のものが挙げられます。

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（参加受付時や表彰式の際にはマスクを着用する）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に最低1m）を確保する。
- プレー中に大きな声で会話、応援等を禁止する。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

・・・大会当日受付時の対応・・・

- 大会受付場所には、手指消毒剤を設置する。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けをする。
- 人と人が対面する場所は、透明ビニールカーテンなどで飛沫感染防止対策をする。
- 受付スタッフには、マスクを着用させる。
- 参加者から以下の情報の提出を求める。
 - ・氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号） ※個人情報の取扱いに十分注意する。
 - ・大会当日の検温。
- 大会前2週間における以下の事項の有無
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳、のどの痛みなど風邪の症状

- ・だるさ（倦怠、（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ・嗅覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる、疲れやすい等
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

・・・大会運営事項の対応・・・

●手洗い場所

- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。
- ・手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。

●ロッカー更衣室・クラブハウス館内

- ・他の参加者、との距離（できるだけ 2m を目安に最低 1m）を確保し着替えをする。
- ・同時に使用する人数や各選手のスタート時間を考慮し、一度に入室する参加者の数を制限する。
- ・換気扇を常に回し、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する。

●洗面所

- ・トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ・レバー）については、こまめに消毒する。
- ・手洗い場には石鹸ポンプ型を用意する。
- ・手洗いは 30 秒以上等の提示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。

●飲食物の提供時

- ・参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。
- ・スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトルで提供する。

●参加者の管理

- ・スタッフが大声でアナウンスをすることや会話を控え、アナウンスをする場合は、掲示物や無線、音響を、使って注意喚起するだけでなく、プラカードなどに文面を書いてコース内を巡回する。

●応援者の管理

- ・大声での声援を送らないことや会話を控える。
- ・会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する。
- ・運営側であらかじめ応援が密集する区域等についてソーシャルディスタンスの対応をとる。

●ゴミの廃棄

- ・マスクやグローブを脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗い、手指消毒する。

●緊急車両要請・熱中症対策

- ・涼しい場所に移動する。
- ・凍らせたスポーツドリンクの支給。
- ・水分と塩分を補給する。
- ・ゴルフ用のアイスバック（氷のう）を持参していただき氷の補充をする。
- ・プレー中でも、熱中症だと感じたら、プレーを中断して応急処置をする。
- ・万が一、重症化して、意識障害や自力で水分や塩分を補給できない状態になってしまったら、救急車等で病院へ搬送する場合、病院側の対応として新型コロナウイルス感染症にかかっている前提で対応を呼ぶ。

新型コロナウイルス感染症による

スマイルジュニアゴルフ選手権実施ガイドライン【参加者サイド】

・・・参加者が遵守すべき事項・・・

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（参加受付時や着替え時、表彰式等の際にはマスクを着用する）
 - ・着用を求める場所 受付時、屋内、カート乗車時、会話をする際
 - ・着用を求めない プレー中
 - ・風により、また、落とすことにより、マスクを紛失することもあり得ます。（予備マスクの持参を推奨）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- 咳エチケット（咳やくしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえること）
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に最低1m）を確保すること。
- プレー中に大きな声で会話、応援等を禁止する。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- イベントの前後のミーティングにおいても、三つの蜜（蜜閉・蜜集・蜜接）を避けること

・・・参加者がゴルフ・準備運動を行う際の留意点・・・

- 練習場、パターグリーン上では十分な距離の確保
- 運動・プレー中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- タオルの共有はしないこと。
- 飲食については、レストラン以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないこと。
- 主催者の指示に必ず従うこと

・・・報道・取材規制・・・

- 1社あたりの人数制限。
- インタビュー時の選手とのソーシャルディスタンスの確保。

スマイルジュニアゴルフ選手権競技事務局

（リンクスランドゴルフクラブ内）

〒710-0846 岡山県倉敷市上富井 509-3

TEL.086-430-0300 FAX.086-430-0301

インターネットでも最新情報をご案内しています

<http://www.linksland.co.jp/visitor/>